

# 「インターKX給与計算」平成16年度年末調整対応版 概要(Ver.H16.1)

「インターKX給与計算 Ver.16.10」で対応が予定されている内容をご案内します。商品リリースの際、機能等が若干変更される可能性がありますので、予めご了承ください。

## 1. データ移行対象バージョン

データ移行対象バージョン・・・Ver.15.10以降  
上記のバージョンからデータ移行が可能です。

## 2. 法改正の内容とシステムの対応について

システムに係る次の改正内容が予定されています。

### ●配偶者特別控除制度の一部廃止

平成15年度の税制改正により、配偶者特別控除のうち控除対象配偶者（合計所得金額38万円以下の配偶者）について配偶者控除に上乗せして適用される部分が廃止されました。

※システムでは、年末調整の計算において、配偶者区分が「一般」または「老人」の場合には、配偶者特別控除の計算を止めて、上乗せして適用される部分が計上されないように対応します。

### ●社会保険庁から提供されているFD提出フォーマットの変更

平成16年4月より、社会保険庁から提供されている「届書作成プログラム」および「仕様チェックプログラム」がVer.2.00からVer.3.00にバージョンアップされました。

※システムでは、仕様チェックプログラムVer.3.00の仕様に合わせたFD申請用のデータが作成できるように対応します。

### ●帳票変更

#### ①社会保険帳票関連

平成15年10月1日以降に実施された被保険者証のカード化にともない、社会保険帳票の様式が変更されました。

- ・被保険者資格取得届
- ・健康保険/厚生年金保険 適用事業所所在(名称)変更(訂正)届(管轄内)
- ・年金手帳再交付申請書
- ・健康保険被保険者証 減失・き損 再交付申請書
- ・被保険者氏名変更届

※平成16年4月以降も旧様式での提出が認められていたため、15年版では対応を見送っておりましたが、16年版ではこれらの帳票のレイアウト変更に対応します。

#### ②法定調書合計表

サイズがA4サイズに変更され、控用が複写式になります。その他、次の点が変更されました。

- 給与所得の源泉徴収票合計表部（315）
  - ・「災害減免法により徴収猶予したもの」の「人数」と「金額」をOCR枠に変更
  - ・「源泉徴収票の提出媒体」に、「13=FD・MOによる提出」と「15=電子申告による提出」の2つの提出区分を追加
- 退職所得の源泉徴収票合計表（316）
  - ・（A）退職手当等の総額の「人数」がOCR枠に変更
- 報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書合計表（309）
  - ・11号該当部分の記載欄を削除
  - ・「災害減免法により徴収猶予したもの」の「人数」と「金額」をOCR枠に変更
- 欄外
  - ・＜電算機による経理処理＞および＜電算機の種類＞に関する記載欄を削除
  - ・右欄外の【提出期限は平成XX年X月X日です】の記載を削除

※システムではこれらの様式変更に対応します。なお、控用(複写)への直接印刷には対応しませんのでご了承ください。

#### ③給与支払報告書/源泉徴収票

各税務署支給用紙について、様式のサイズやレイアウト等が変更される見込みです。（現在調査中）

なお、現時点（10月13日）では、次の国税局管内の税務署または市区町村から支給される用紙が変更される予定であることが分かっています。

- ・名古屋国税局、高松国税局、沖縄国税局
- ※東京国税局の様式については変更ありません。

### ●雇用保険の一般保険料額表の廃止について

平成15年5月1日より雇用保険法が改正になり、雇用保険の一般保険料額表が廃止され、賃金総額に雇用保険料率の被保険者負担分を乗じて得た額を雇用保険料とすることになりました。ただし、経過措置として平成17年3月31日までの間は、引き続き一般保険料額表により計算することも可能です。

※システムでは、選択した会社データの雇用保険の算出方法が「料額表」で、かつデータ選択・保守画面で選択した処理月の支払日が17年4月1日以降の場合にメッセージを表示して、雇用保険の算出方法が「料率」に変更されるように対応します。

### ●老年者控除の廃止

所得者本人が年齢65歳以上で、かつ、合計所得金額が1,000万円以下である場合に適用される老年者控除（50万円）が、廃止されることとなりました。（平成17年分以後の所得税について適用）なお、毎月（日）の給料や賞与などの源泉徴収税額の算定に際し、所得者が老年者に該当する場合において扶養親族等の数に1人を加える措置は、老年者控除の廃止に伴い、平成17年1月1日以後に支払うべき給料又は賞与から、その適用がないこととされました。

※システムでは、平成17年1月に支給する給与計算より、本人が老年者の場合に、扶養親族等の数に1を加算しないように対応します。なお、17年分以後の所得税について適用される老年者控除の廃止につきましては、平成17年版で対応する予定です。

### ●厚生年金保険料率の引き上げ

平成16年10月1日から厚生年金保険料率に変更になり従業員負担分の料率は以下のようになりました。

厚生年金保険料率：1,000分の69.670（変更前：1000分の67.900）

※システムでは、標準データとサンプル株式会社の厚生年金保険料率は、プログラムのバージョンアップによって初期設定されるよう対応します。

## 3.機能アップの内容

### ●データ選択・保守画面での機能追加

#### ①一括処理対応

バックアップ、リストア、年度更新の各処理を複数会社選択して処理できるように対応します。

#### ②年度更新処理画面への注意事項欄の追加

年度更新処理時、編集される項目について確認できる「更新処理の内容」ボタンを年度更新処理画面に追加します。

#### ③会社データ削除後の年度表示について

会社を削除した後にデータ選択・保守画面に戻ると、常に年度が「すべて」の状態になりますが、削除前に選択していた年度がそのまま表示されるように対応します。

### ●辞書機能の追加

#### ①市区町村辞書機能の追加

市区町村辞書機能(市町村コード、市町村名、郵便番号、住所、電話番号)を追加します。

また、市区町村へ給与支払報告書(総括表)等を郵送するときに便利な市町村ラベル印刷機能を追加します。

#### ②銀行コード辞書機能の追加

銀行や銀行支店の登録時の便宜を図るため、銀行コード辞書機能(全銀協コード(銀行)、銀行名、全銀協コード(支店)、支店名)を追加します。

### ●検索機能の追加

#### ①会社データ検索機能

データ選択・保守画面で、会社データを検索できる機能を追加します。

#### ②従業員検索機能

従業員を検索できる機能を追加します。

従業員検索機能は、次の各従業員選択画面で対応する予定です。

従業員／個別入力、給与(賞与)明細／個別入力、賃金台帳、源泉徴収簿、給与支払報告書／源泉徴収票

### ●勤怠項目の汎用データ受け入れ時の60進数対応

勤怠の汎用データ受入時、10進数だけでなく、60進数でもデータ受け入れができるように対応します。

### ●住民税の登録画面の入力月欄の見直し

住民税額の入力欄を、1～5月、6月、7月、8～12月の4区分から、1～5月、6月、7～12月の3区分に変更します。

## ●給与・賞与処理について

### ①給与(賞与)明細/個別入力(一覧入力)での処理済従業員の表示方法の改善

現在、給与(賞与)明細の入力で処理「済」とした後に退職年月日を入力した従業員は、給与明細/従業員の選択一覧には表示されなくなりますが、今後は、金額をクリアした時点で一覧から表示されなくなるように変更します。

### ②賞与明細/個別入力画面への在職区分欄の追加

現在、従業員/個別入力画面に表示される「在職区分」欄を賞与明細/個別入力画面にも追加します。また、賞与明細の入力で「賞与の支払日<退職年月日+3ヶ月>」に該当する従業員を一覧に表示しておりますが、今後は「在職区分」を追加することにより、在職者のみを範囲選択してから賞与計算ができるように変更します。

## ●印刷機能追加

### ①給与支給明細書の印刷タイプの追加

印刷タイプに「A4 白紙印刷(3分割)」を追加します。

印字する項目が少ない企業などでお使いいただけますが、印字項目数に制限がありますので※、あらかじめ出力項目についてはご確認ください。(三分割ミシン目入りのA4 白紙専用用紙をご用意致します)

※支給項目の10~18番目、控除項目の19~27番目、前回端額、今回端額は出力されません。

### ②給与支給明細書(B5 白紙印刷)のフォントサイズの見直し

B5 白紙印刷時のフォントサイズを見直して、従来より大きいサイズで印刷されるように対応します。

## ●年末調整の計算方法が「現金支給で調整」の場合の賃金台帳の出力方法の改善

年末調整の計算方法が「現金支給で調整」の場合に、賃金台帳を開いて<OK>で保存すると、年末調整の額が保存され、12月度の支給控除一覧表等にその額が表示されますが、今後は、年末調整の計算方法が「現金支給で調整」の場合は年末調整の額が保存されないように変更します。

## ●年末調整および支払調書関連

### ①退職所得の源泉徴収票の源泉徴収税額の端数処理について

退職所得の源泉徴収税額で端数が生じた場合、100円未満の端数は切り捨てるように変更します。

### ②源泉徴収票の提出区分欄の追加

給与支払報告書/源泉徴収票の従業員一覧画面に「提出区分」欄を追加します。

## ●その他

### ①Storafireへの帳票出力対応

すべてのプレビュー画面にファイリングボタンを追加してStorafireとの連携ができるように対応します。

### ②WindowsXP SP2で確認された現象への対応

Windows XP SP2のPC環境で、「はじめに」を開くことができないという現象について、開けるように対応します。

### ③KXコンバータ 勤怠控除(標準計算)コンバート時の端数処理対応

給与計算V+で勤怠控除を標準式に設定しているデータ(端数処理は「切り捨て」固定)をコンバートすると、端数が切り上げでセットされるという現象について、コンバート時も「切り捨て」でデータ移行されるように対応します。

## 4.KXからのコンバートについて

KX給与計算V+およびKX法定調書V+から「インターKX給与計算Ver.H16.10」へのデータコンバートに対応しました。

### ●コンバータの提供について

KX給与計算V+は、平成17年6月をもってサポートを終了いたしますので、コンバータを提供するの今回が最後になります。

### ●コンバータの対象バージョン

#### ①KX 給与計算 V+

・給与計算 V+ Ver.J1(平成14年版)以降

■KX 給与計算 V+のバージョンがJ3版までの場合

インターKX 給与 給与 V+コンバータ	H15.1	H15.2	H16.1
H15.10	○	×	×
H15.20	×	○	×
H16.10	×	×	○

■KX 給与計算 V+のバージョンがK1 版、L1 版の場合

給与計算 V+ Ver.K1 版(平成 15 年通勤手当非課税限度額改正対応版)以降で処理したデータは、次のとおりコンバートしてください。

- ・ 15 年度データ……コンバータ H15.20 でコンバートする
- ・ 16 年度データ……コンバータ H16.10 でコンバートする

インターKX 給与 給与 V+コンバータ	H15.1	H15.2	H16.1
H15.10	×	×	×
H15.20	×	○	×
H16.10	×	×	○

②KX 法定調書 V+

- ・ 法定調書 V+ Ver.F1(平成 11 年版) 以降

インターKX 給与 法定調書 V+コンバータ	H15.1	H15.2	H16.1
H15.10	○	×	×
H15.20	×	○	×
H16.10	×	×	○

## 5. データの互換性について

平成 16 年版(Ver.H16.1)では、同じバージョンのみ他のシステム※とのデータの互換性があります。データの移行はバックアップとリストアで行います。

※インターKX 給与計算・法定調書、給与応援 Super ネットワーク版/スタンドアロン版、給与応援Lite、法定調書顧問

## 6. 源泉徴収票のご注文について

次の専用紙は、該当年度に対応した専用紙を毎年用意します。このため、商品コードも年度ごとに変更されます。ご注文をいただく際は商品コード(該当年度)をご確認の上、ご注文ください。

商品コード	商品名	入数	標準価格
AC2516	源泉徴収票/H16 年度 A4 単票	500 枚	¥6,000
AC2516S	源泉徴収票/H16 年度 A4 単票	100 枚	¥1,300